



令和7年度 学校評価 集計結果



宮前小学校 保護者様

令和7年度学校評価に御協力いただきありがとうございました。集計結果がまとまりましたので御報告いたします。学校ではこちらの結果を参考にさせていただき、来年度の教育活動・計画について検討しております。引き続き本校の教育活動に御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

今回、学校評価・保護者アンケートの22項目について、令和6年度・7年度の回答をグラフ化し、比較したものを掲載しています。(評価項目の見直しにより、一部過去のデータがない項目もあります。)

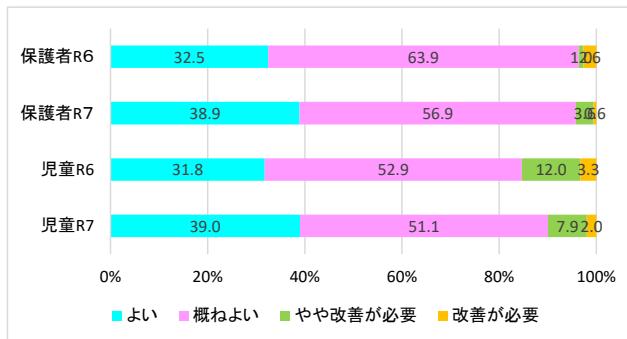
【備考】

・児童アンケートの関連した項目も参考に掲載しました。

・項目1～12は「宮前小の教育について」、項目13～22は「御自身のお子様について」お答えいただいたものです。

1 <保護者> 学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。

<児童> 学校や学年、クラスの目標が達成できるよう努力している。

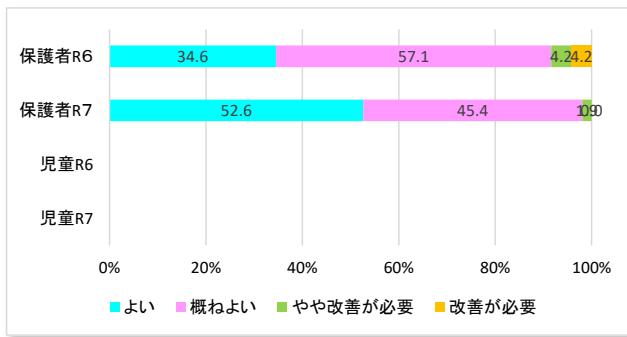


学校だよりや学校ホームページへの各種シートの掲載（グランドデザイン、学校自己評価システムシート、学力向上ポートフォリオなど）により、概ね学校の教育方針は伝わっているようです。

今回の学校評価の結果も参考にさせていただき、来年度の教育方針を作成してまいります。

2 <保護者> 学校は、授業参観や学校行事等を通して、児童の様子を伝える機会を設けている。

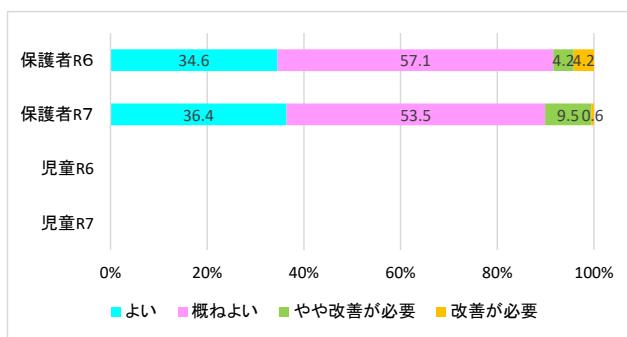
<児童> ※該当項目なし



校外学習や運動会、授業参観などすべての学校行事が計画通り実施できました。また、昨年度の学校運営協議会での熟議で出した学校への要望から、今年度は各学年の特別授業や金管バンドの演奏発表など公開の機会を増やしました。より参観していただきやすくするよう、余裕をもって日程の連絡をするようにしていきます。

3 <保護者> 学校は、各種たよりやホームページ等を通して、児童の様子や教育活動を発信している。

<児童> ※該当項目なし

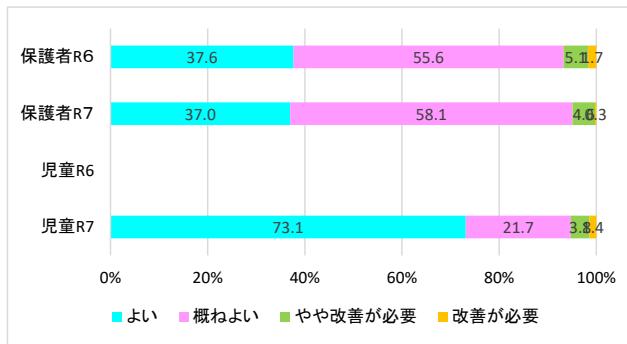


今年度、学校ホームページの内容を刷新して、児童の活動の様子や学校を紹介する写真の掲載、教育相談に関する情報提供等を行ってきました。

今回、児童の校外学習の様子も掲載してほしいという要望もありましたので、引き続き個人情報の保護に配慮しながら改善に取り組んでいきます。

4 <保護者> 学校は、基礎・基本を大切にしたわかりやすい授業を行っている。

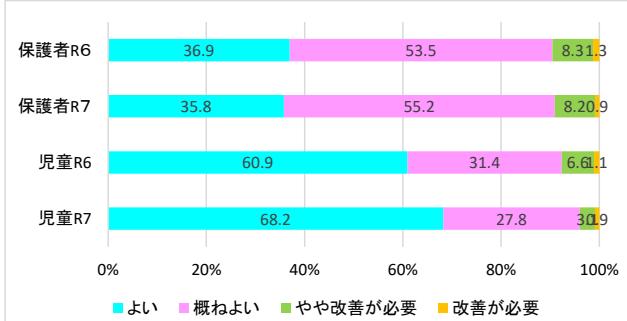
<児童> 先生は、わかりやすい授業をしてくれる。



本校では、学校課題研修の主題を「学びのつながりを意識して、自分の考えを広げ深められる児童の育成」とし、主に「個別最適な学び」と「協働的な学び」を通した授業改善を推進しています。新しい教育情報や指導法を取り入れながらも、児童の実態をしっかりと把握した上でわかりやすい授業を提供できるよう、教員も学び続けています。

5 <保護者> 学校は、タブレットやデジタル教材を活用した学習に取り組んでいる。

<児童> タブレットを使って、工夫して学習に取り組んでいる。

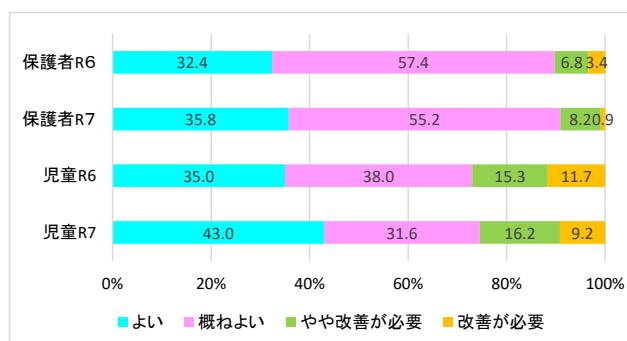


タブレットやデジタル教材を活用する授業も増え、児童も工夫しながら使用できるようになってきました。

令和8年度から、児童の教育用タブレットが新しくなります。家庭へ持ち帰って使用する頻度も高くなると思いますので、御協力をお願いいたします。

6 <保護者> 学校は、児童一人ひとりを大切にした指導や支援を行っている。

<児童> 困りごとや不安がある時、いじめが心配な時は先生に相談できる。

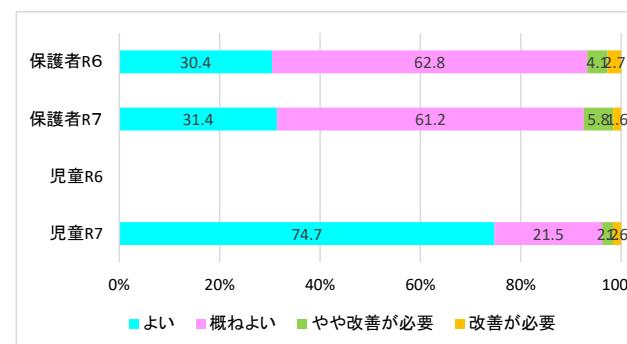


児童アンケートでは「特に相談することがない」という記述もありました。

普段から学級担任だけでなく、様々な立場の教職員が児童一人ひとりと関わることで、「いつでも頼れる人がいる」という安心して学校生活が送れる環境づくりを今後も目指していきます。

7 <保護者> 学校は、「いじめ防止基本方針」に基づいた指導や対応を行っている。

<児童> いじめや人を傷つけることはいけないという気持ちで生活している。

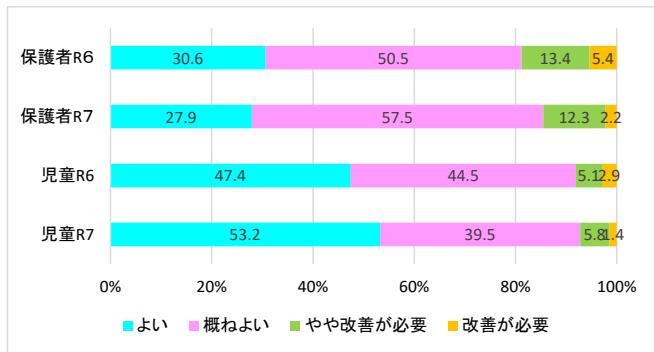


本校の「いじめ防止基本方針」は学校ホームページに掲載していますので御参照ください。

学校の指導や対応については、概ね御理解をいただけているようですが、今後も「よい」の評価が向上するよう、校内の体制を整え、保護者や地域の皆様、関係機関との連携を深めて、いじめを未然に防止でくるよう努めてまいります。

8 <保護者> 学校は、明るく清潔な環境づくりに取り組んでいる。

<児童> 掃除や整理整頓をして、学校をきれいにしている。

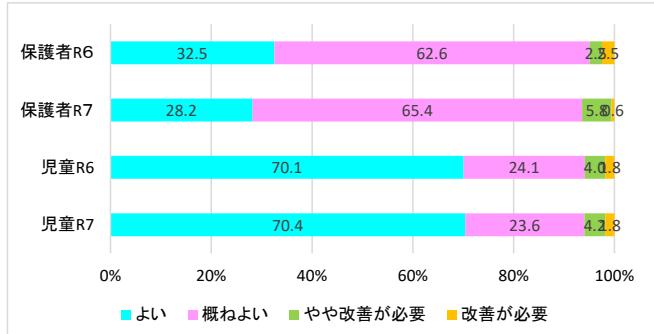


施設・設備の老朽化に関する御意見や御要望をいただいています。

学校の配当予算内でできることは迅速に、また大きな予算がかかるものに関しては教育委員会に相談しながら、一つ一つ問題を解決できるよう対応しています。

9 <保護者> 学校は、事故防止に向けた指導と学習環境の改善に取り組んでいる。

<児童> けがや事故の無いよう安全に生活している。

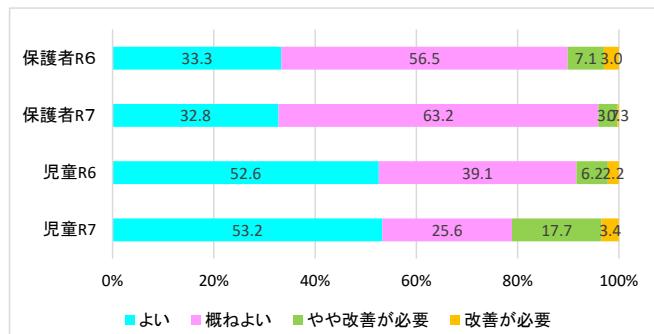


安全指導や安全教育を通して、引き続き、児童自身のけがや交通事故防止の意識を高めていきます。あわせて、教職員による施設・設備の安全点検（定期・臨時・随時）を行っていきます。

保護者の皆様におかれましては、日頃より児童の登下校の見守りなど、ありがとうございます。

10 <保護者> 学校は、健やかな体をはぐくむ教育の推進に取り組んでいる。

<児童> 体育や休み時間に、すすんで体を動かしている。

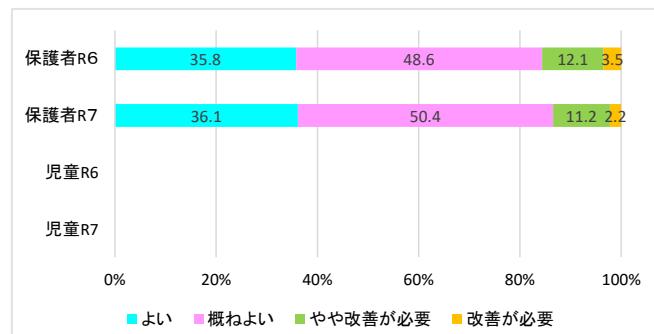


児童アンケートについては、昨年度と質問の文言が変更になったことが影響しているそうです。（R6：すすんで体を動かし、食事と睡眠をしっかりとっています。）

体を動かすことによる消極的な児童もいますが、体育や休み時間の遊びなどの様々な運動体験を通じて、生涯にわたって運動に親しみ、健康維持が図れる大人になってほしいと願っています。

11 <保護者> 学校は、教育活動全体を通して、あいさつの励行に取り組んでいる。

<児童> ※該当項目なし

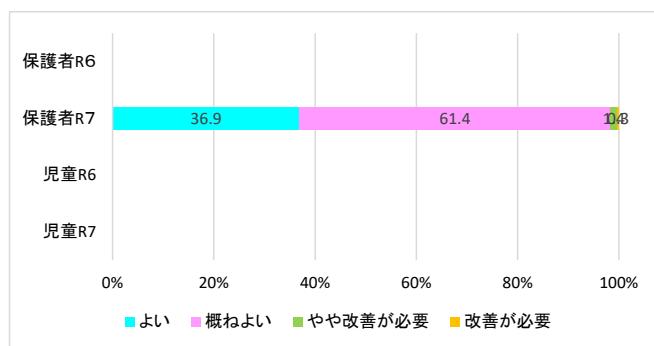


児童アンケートは、項目14を参照してください。

学校では、学級での指導の他に、学期ごとに「あいさつキャンペーン」を行っています。クラス別や異学年での縦割りグループで、あいさつの大切さや気持ちよさを感じながら活動しています。「学校でも、地域でも、自分からすすんで、明るく」あいさつできることが目標です。

12 <保護者> 「宮前小の生活」(生活のきまり)の内容は適切である。

<児童> ※該当項目なし

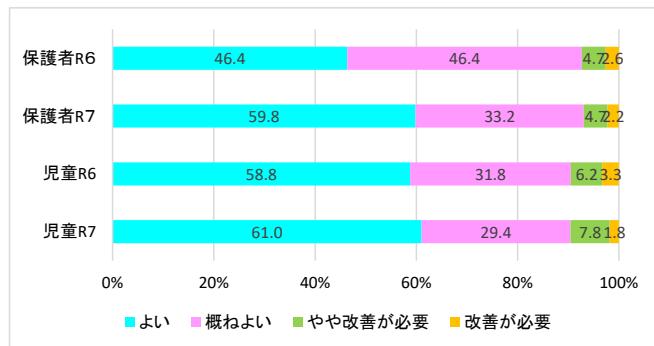


「わざわざきまりにすべき内容なのか」、「学校生活とは無関係な（家庭で判断すべき）ものも含まれている」という御意見もありました。安心・安全な集団生活をする上での約束事として、定期的に児童と内容を確認しています。児童自身で内容を検討（自己決定）することで、きまりを守ろうという意識が高まると考えています。

学校運営協議会委員の皆さんや保護者の皆さんのお意見も参考に内容を見直しています。

13 <保護者> いつも元気に登校している。

<児童> いつも元気に登校している。

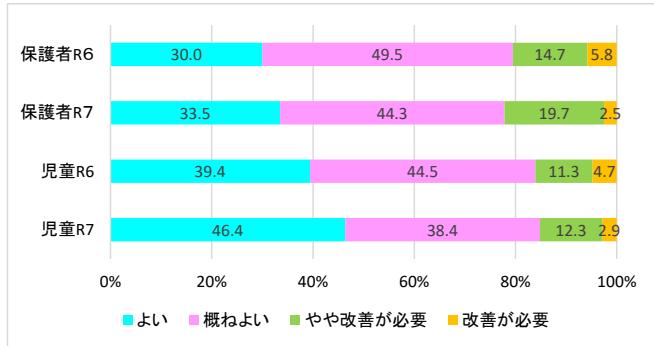


保護者アンケートの「よい」の割合がだいぶ向上しました。一方で、児童の約1割が否定的な回答をしています。

困難なことがあっても、必要に応じて大人や友達の力を借りながら、力強く乗り越えられるよう、様々な活動を通じて成長してもらいたいと考えています。

14 <保護者> 「おはよう」「ありがとう」などのあいさつができる。

<児童> 誰にでも元気にあいさつができる。

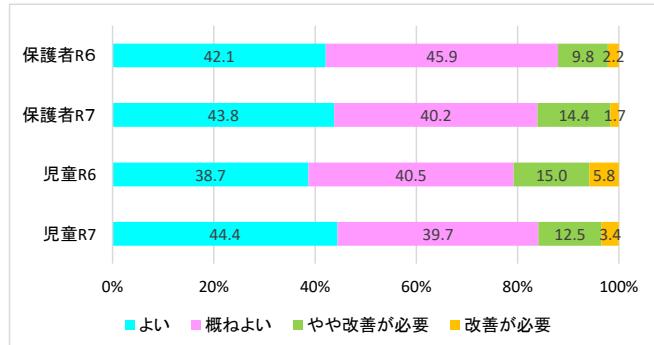


地域の方や保護者の方から「もう少し元気にあいさつしてほしい」という御意見がありました。

あいさつをすることの意味を理解し、自ら率先して明るくあいさつができるよう、学校でも継続して指導や支援をしていきます。

15 <保護者> 「早寝、早起き、朝ごはん」の習慣が身に付いている。

<児童> 「早寝、早起き、朝ごはん」ができている。

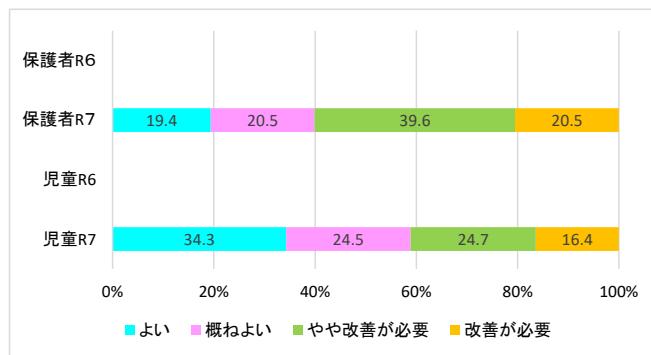


「早寝、早起き、朝ごはん」の習慣をつけるといった生活のリズムを整えることは、「心と体の回復」、「メンタル面の安定」、「集中力の向上」、「生活態度の改善」などにつながるといわれています。

最近は、寝る時刻が遅く睡眠不足が慢性化して、学校で体調不良を訴える児童もいますので御注意ください。

16 <保護者> 読書を楽しむ習慣が身に付いている。

<児童> よく本を読んでいる。

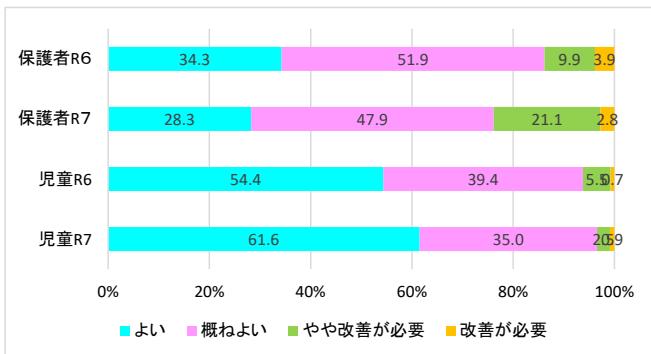


今年度新設した項目です。

学校では、「秋の読書月間」で様々なキャンペーンを行いました。本が好きな児童は多いと思いますが、毎日読書を楽しむことが習慣づいているとは言えないようです。一日のうちで、読書をする時間を確保していきましょう。

17 <保護者> 約束やきまりを守って生活している。

<児童> 「宮前小の生活」(生活のきまり)を守って生活している。

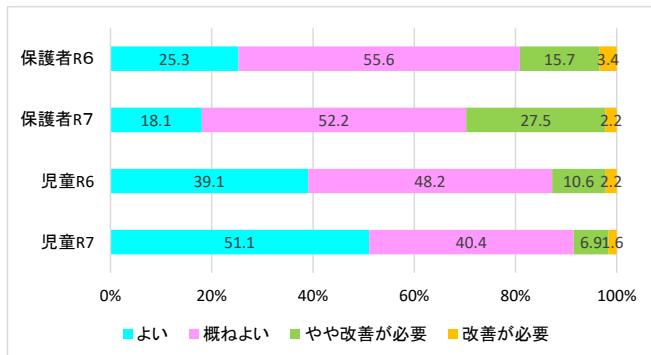


保護者アンケートの肯定的な回答の割合は昨年に比べ低下しています。児童と比較すると、学校での集団の中での約束やきまりではなく、親子間でのものと思われます。

すぐに改善できるか分かりませんが、児童自身に自己決定させることで、きまりを守ろうという意識が高まると言われます。「どうしたいのか、どうすることがいいのか」よく話し合ってあげてください。

18 <保護者> 場や相手に応じた言葉遣いが身に付いている。

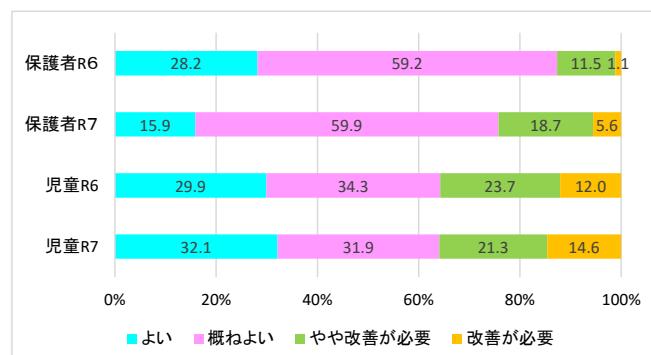
<児童> 言葉遣いに気を付けている。



児童の回答とは逆に、保護者の肯定的な回答の割合は低下しています。学校などの集団生活の中では、言葉遣いを意識していることだと思われますが、保護者の方にとっては、言葉遣いが気になる場面が多いようです。

19 <保護者> PTAや地域の行事等に参加している。

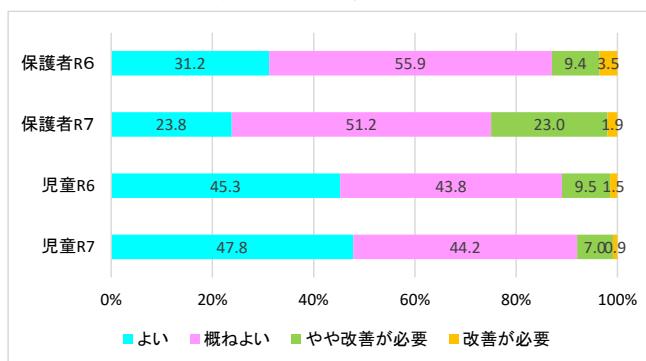
<児童> PTAや地域の行事等に参加している。



学校運営協議会やスクールサポートネットワーク会議の中で「子どもだけでなく、子育て世代の大人にも地域行事に参加してほしい」という意見も出ています。

児童にとっても社会性や協働性を育むよい機会になりますので、親子で積極的に参加できるといいでしよう。

20 <保護者> 自分で決めたことは最後までやり遂げようとする。
 <児童> 自分で決めたことは最後までやり遂げるようしている。

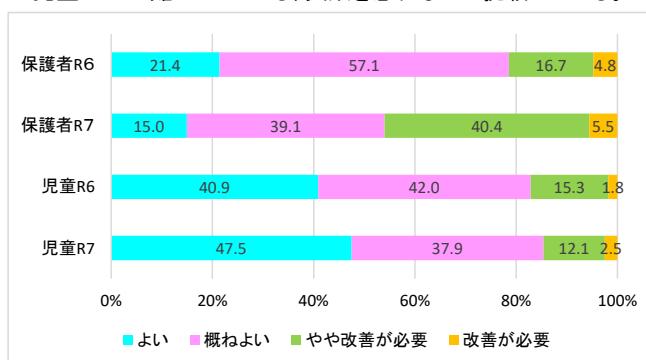


保護者アンケートからは、もう少し頑張ってもらいたいという気持ちが伝わってきます。

現代社会では、つい大人が先回りしてしまい、子ども自身が自己決定や自己解決する機会が少なくなっていると言われています。

学校では、「どうしたいのか」、「どうすればよかったのか」、「これからどうするのか」を児童に考えさせる指導を大切にしています。

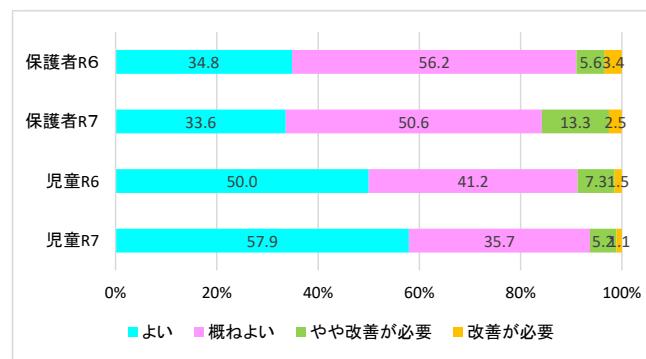
21 <保護者> 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦しようとする。
 <児童> 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。



子どものうちには、間違えたり失敗しながら学ぶことも多いのですが、挑戦する前にあきらめてしまうことがあるように思います。試してもいいのに、「無理」が口癖になっている児童もいます。

宮前小学校運営協議会（コミュニティスクール）でも、「自ら進んでできる子」、「あきらめない子」を目指す子ども像に掲げて、児童のよりよい成長につながる方策を考えています。

22 <保護者> 誰かが困っているときは、すすんで助けることができる。
 <児童> 誰かが困っているときは、すすんで助けている。



児童アンケートでは、肯定的な回答の割合が向上し、高い数値になっています。

友達の気持ちを理解し、協働する機会をもてるよう、学校では、引き続き授業や行事などを通して、助け合う気持ちを大切にしています。

【記述面から】※一部抜粋

○手紙をデジタルでの配信にできないか。

→年度初めから検討してきた「スクリレ」を2学期末より導入しました。今後、欠席連絡や集金（引き落とし）などの機能も使えるようにしていきたいと考えています。

○学校の施設や設備の老朽化が気になる。

→学校の配当予算内でできるものは、優先度を考えながら対応しています。費用がかかるものや長期的な視点で判断すべきものは、学校の設置者である教育委員会にその都度相談しています。

○特に児童の下校時の様子を見ていて事故にあわないか心配。

→下校時の見守りをしてくださっている方からです。学校でも様々な方法で指導をしていますが、御家庭でも事故防止について、お話をする機会を定期的に持ってください。

○PTAの「宮前小フェスティバル」の内容が充実していました。担当された皆さんありがとうございます。

○仕事をしていることもあります、PTAの活動に負担感がある。

→様々な事情がある中、児童のため、日頃より学校のためにPTA活動に御協力いただきありがとうございます。

PTAに関するご意見は、役員さんに伝えました。皆さんが参加しやすいPTAになるように、学校も積極的に相談させていただきたいと考えています。